

近代移行期の日朝関係

—国交刷新をめぐる日朝双方の論理—

石田 徹 著 4500+ 税円 2013 年度学術振興会助成

1860 年代後半～1870 年代前半までの、日本と朝鮮の外交秩序と、西欧起源の外交秩序との衝突を両国がどのように捉え、それが両国関係などにどのような影響を与えたのかを明確にし、日本の朝鮮政策に内在していた問題点を考察する。



序 論

第一章 「西欧の衝撃」への対応比較——幕末期の征韓思想と「内修外攘」論

はじめに／第一節 危機意識の諸相／第二節 日本の対応／第三節 朝鮮の対応／おわりに

第二章 開港期前後朝鮮政府の日本政策

はじめに／第一節 事大交隣体制／第二節 交隣関係の動揺と再確認（一）認められた「格外」／第三節 交隣関係の動揺と再確認（二）交隣関係への挑戦／第四節 癸酉政変と日本政策／おわりに

第三章 明治初期外務省の朝鮮政策と朝鮮観

はじめに
第一節 朝鮮外交の前提（一）環境／第二節 朝鮮外交の前提（二）万国公法秩序／第三節 朝鮮外交の方針と朝鮮観／第四節 朝鮮外交の方法と朝鮮観／おわりに

第四章 明治初期日朝交渉における書契の問題——書契の「書き手」と書契観

はじめに／第一節 戊辰書契をめぐる／第二節 壬申書契をめぐる／補論 明治八年書契（外務大丞書契）の作成過程の一端

第五章 明治初期日朝交渉における儀礼の問題——服制観と日本観

はじめに／第一節 倭洋一体観／第二節 宴饗儀礼問題（一）「衣服変改」——服制観／第三節 宴饗儀礼問題（二）「正門出入」——再び「羈縻交隣」について／おわりに

結 論

近代移行期の日朝関係

石田 徹 著 4500+ 税円

お名前	ご注文冊数
ご住所（〒 ）	冊
お電話番号（ ）	

番線印

【書店様】
ご注文の際には
溪水社宛に FAX
をお送り下さい。

FAX
082-246-7876

個人・書店様注文書

◆お問合せ 直接のご注文は



溪水社

広島市中区小町1-4(〒730-0041) TEL (082) 246-7909
E-mail info@keisui.co.jp FAX (082) 246-7876